



# 第九たいはむず

No.18 2010.9.30

通刊908 担当 UM25K

ホームページ: [www.takasaki9.com](http://www.takasaki9.com) メールアドレス: [takasaki9@myad.jp](mailto:takasaki9@myad.jp)

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673(事務局長中村)



♪多くの会社では上半期最後の日で、忙しい方もおられることでしょう。爽やかな秋・実りの秋で気分爽快。12月の演奏会に向けチケット販売のアクセルを踏みましょう。合宿にも行きましょう。

## ◆10月16, 17日(土・日): 軽井沢合宿2010

日時: 10月16日(土) 13:30集合~17日(日) 16:00解散(予定)

場所: 武蔵野音楽大学 軽井沢研修所(申込用紙に地図有り)

参加費: 8,000円 一泊二日3食レッスン付 学割あり6,000円(高校生まで)

交通: 原則各自で集合ですが、相乗り希望も承ります。駐車場は詰め込みです。

※相乗りで、乗せてもらった方は運転手さんに片道500円(往復なら1,000円)をお渡しください。

参加の一時締切をしましたが、申し込んでいない人で参加できる方は、受付にお話して下さい。

例年、合宿後には指揮者レッスンの日程が示されます。本番同様の緊張したレッスンになってきます。私たちの目標は「暗譜」とか「歌える」ではありません。演奏会で「感動させる」です。

どうしても都合で参加できない方は、過去の大勝さんのCDを聞いたり、練習の録音を聞き返したりと、かなり自分で努力しなければ、合宿へ参加するメンバーの2日間には追いつきません。

## ◆チラシ・ポスター・チケットができました。チケットは自分たちも販売します。

全国の第九演奏会では、出演する団員もチケットを販売しています。高崎の第九も同じです。チケットが売れずにコンサートを開く人はいません。数百枚が県内プレイガイドへ、団員は一人12枚、事務局も販売します。団員の12枚は買取りではありません。売れなければ12月に返してください。

合唱団はチケットが売れなくても群馬交響楽団へ契約したお金を支払わなければなりません。初めてでも大丈夫、チラシを使い、熱意や群響と合唱団の大切さをお話すれば、団員一人一人がチケットを販売できます。きっと37年目もお客様は来てくれます。この歴史を受け継ぎましょう。

## ◆イベント情報

- ☆ **映画『君に届け』(男声出演)が上映中 (コミック累計1200万部突破の『君に届け』が実写映画化)**  
この映画に当団の男声諸氏が、わずかな時間ですが出演し、第九を歌い、エンディングで個人名が出ます。  
公開・前売券取扱映画館: ユナイテッド・シネマ前橋、109シネマズ高崎、イオンシネマ高崎、コロナワールド太田、イオンシネマ太田、MOVIX 伊勢崎、プレビ劇場 ISESAKI、ユナイテッド・シネマ ウニクス上里
- ☆ **10月1日(金)「第8回宝徳寺 秋の夕べ」~Autumn Concert~**  
場所: 宝徳寺(桐生市川内町5-1608) 18:30開演 入場料3,000円(抹茶・けんちん汁付き)  
曲目: 「千の風になって」「荒城の月」「ピアノソナタ月光」等 永井隆子(ソプラノ)  
田村稔(テノール) 田村聡子(ピアノ) お問い合わせ・詳細地図: [www.houtokuji.jp/](http://www.houtokuji.jp/)
- ☆ **10月11日(月)・体育の日) ギターアンサンブル宇宙(ソラ)シド 1stコンサート**  
高崎シティーギャラリー コアールホール 13:30開場 14:00開演 無料(入場整理券はバスの中村孝雄さんへ) 高崎中心のアマチュアギターアンサンブル4団体の合同第一回目のコンサートです。中村さんが中心的に頑張っています。特別ゲスト 町田文善さんのソロ演奏もあります。ラジオ高崎で放送されました。
- ☆ **10月11日(月)・体育の日) クラリネット・ピアノトリオコンサート**  
藤岡市みかぼみらい館大ホール 18:00開場 18:30開演 全席自由3,500円(特別割引券はソプラノ新井幸子さんへ) チャールズ・ディナック、大島文子のクラリネット、大島直子のピアノトリオコンサートです。
- ☆ **10月11日(月)・体育の日) コンチェルティーノ「心にしみる日本の歌」受付にチラシ有り!**  
夢スタジオ(前橋市) 13:30開場 14:00開演 前売り3,000円 当日3,500円  
2回券(又は2人様)5,000円 4回券(又は複数人可)10,000円  
鷹野 恵(ソプラノ) 諸田広美(メゾ・ソプラノ) ユリヤ・レヴ(ピアノ) (チケットはユリヤ先生まで)

☆ 10月30日(土)「岩宿博物館サロンコンサート」音楽とコーヒーの薫り～世界のカフェ巡り～

場所:岩宿博物館 19:00開演 入場料:2,000円 全席自由

石原 理恵(ソプラノ) 田村 稔(テノール) 田村 聡子(ピアノ) 他フルート、ピアノ

今年は「枯れ葉」他、シャンソンに挑戦します。お問い合わせ:「サロンコンサート友の会」HP

田村先生より♪趣味のブログ(コーヒー)も始めました <http://ameblo.jp/taminoo/>

◆ 沼田“みどりの第九”に男声が応援出演してきました。 <映画出演に引き続き、助っ人第2弾>

一人の遅刻者もなく定刻前に高崎駅東口を出発。快晴に気分も良く、ラジオ高崎の中村孝雄さん出演の放送を聴きつつ沼田に向かいました。

島田和昭さんの丁寧な合唱指導、足音を立てないために靴を脱いで移動、入退場・整列確認などの準備後、1,200人収容できる利根沼田文化会館に70～80%の入場者が聴き入るなか、小学4年生から80歳台までが小柄な広上淳一さんのエネルギッシュな指揮で歌う182人の大合唱に参加し、また感動してきました。楽章間での拍手どころか、7秒間以上にも感じた長～い「vor Gott」の後にも拍手をもらいビックリ。また、指揮者の口から度々発せられる「ヒュッヒュッ」という息吹音が聴く人の邪魔になるのではないかと大いに気になりました。応援に来てくれ客席で聴いてくれました当団の女声陣の姿も良く判りました。

演奏会後のレセプションは人数の割には会場が狭く立食形式でしたが、豪華な料理・飲み物を戴きながら沼田市長の元気あふれる話やソリスト・指揮者のユーモアたっぷりなスピーチ他を聞き、また、高崎第九合唱団への謝辞に対して渡辺団長からの挨拶が続き、今後の交流・発展を期待しておいとましました。乗車後スーパーへ直行し買い物(\*^\_^\*)をして、賑やかに高崎へと向かいました。駒寄での事故による渋滞に遭いましたが、レセプション及び買い物のおかげでイライラもせず陽気に元気で帰ってきました。参加者ならびに応援者の皆様、お疲れさまでした。

【参加者からのコメント・つぶやき】 その1

○個性豊かな沼田みどりの第九にとっぴりつかった一日でした。指揮の広上淳一もユニークでしたし、運営も沼田らしく好感がもてました。12年ぶりの第九公演とあって官民あげて地域活性のために頑張った様子がよくわかりました。第九の演奏会は何回出演してもいつも新しい感動を受けるものだ実感しました。沼田の皆さんも高崎第九のファンになってくれたと気をよくしています。参加された皆さんお疲れ様でした。今度は高崎第九の番です。沼田に負けないように頑張りましょう。(Yさん)

○いい意味でも悪い意味でも…じゃなく、悪い意味でも(注:誤記ではありません)悪い意味でも目立ってしまいました。そもそも、練習会場から舞台への移動時に一番先頭になろうとは思ってもみませんでした。よりによって緑のトレーナー(私服)を着ていたのだからただでさえ目立つし、移動時には当然「○○さあーん」って呼ばれるから赤面するし(ウソ)、別に緊張した訳でもわざとやった訳でもないのに足と腕の動きが一致する(舞台までには矯正しました)し…そんな訳で、沼田のご婦人方に顔と名前をバッチリ覚えられました。(Nさん)

◆ 十四夜(こもちづき) 赤羽洋子

9月21日(火)見上げた空に透き通るように美しい月が出ていました。翌日の十五夜は雨の予報!明日は見られないと思うと余計愛おしく思えて暫く虫の声と一緒に見とれてしまいました。1ヶ月前は遙かイタリアのベローナ野外劇場から「カルメン」を見ながら輝いていた同じ月です。

月見にはその日によって名前が有るのに「十四夜」の呼び名だけは知らなかったのを知りたくなりました。古くから人々は月にロマンチックな名前をつけて優美な月を讃えていました。皆さんもご存知でしたか?

十三夜(じゅうさんや) 十五夜に次いで美しいとされて宮中では月見の宴が催されていました。

十四夜(こもちづき) 満月(望月もちづき)の前日なのでこう呼ばれました。

十五夜(じゅうごや) 中秋の名月と呼ばれ酒宴を開き詩歌を詠じススキを飾り団子等を盛り、お神酒を供えて月の美しさを褒め讃えました。

十六夜(いざよい) 「いざよう」から来た言葉でためらう、遅れる、の意味から、満月より月の出は遅く月がためらっていると見立てて名付けられました。

十七日月(たちまちづき) 立ち待ち月は立ったまま待っていても疲れない内に月が出て来るという意味。

十八日月(いまちづき) 居待ち月は、月の出が遅くなるので立って待っていると疲れるので座って待つこと。

十九日月(ふしまちづき=ねまちづき)

満月の頃から4時間程遅く出るので、臥して(寝て)月の出を待つという意味。

日本人古来の風流な人の心には、現在の私たちが忘れかけている自然への慈しみと感謝の心が溢れています。月を愛でる優雅な余裕を持って生活したいと考えています。